

姓	名	題目 (Main Title)
相澤	亨祐	児童虐待の「要因」と「対応」言説の変容
相澤	真一	1960年代前半の低所得層の経済的離陸
青木	淳弘	住宅は地域社会の共同性構築の場所になり得るのか
赤堀	三郎	何がその背後に隠されているか
秋谷	直矩	ガーフィンケルによるグールヴィッチの「意図的な誤読」とはいかなる実践か
秋谷	公博	TBLとPBLを活用したまちづくり分野の教育における教育効果に関する研究
浅川	達人	三大都市圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究 (3)
東	園子	やくざ映画ジャンルの形成
荒井	悠介	大学生のサークル活動への意味づけ
HARVEY	Valerie	Women in the IT Sector
有賀	ゆうアニース	「混血児問題」を当事者はいかに経験してきたか
安東	慶太	敵対関係の歴史社会学に向けて
五十嵐	素子	学習の達成に志向した教示作業のデザイン
井口	尚樹	日韓の社会起業家のキャリアの違い
石島	健太郎	「全部割り切ってしまうと仕事できなくなってしまうので」
石田	浩	東大社研パネル調査と初発の不利とライフコースの関連
石田	賢示	労働組合への加入と健康状態
石橋	潔	危篤のときの対面
石橋	拳	祖父母の文化・経済資源が子どもの教育達成に及ぼす影響
井島	大介	なぜ「人間」は産業社会学の問題になるのか①
磯	直樹	存在論的転回と「ネイティブ」の理解：社会学と人類学の交錯
市岡	卓	スティグマを付与される人々へのオンライン会議システムを活用したインタビュー調査の有効性に関する一考察
伊藤	大将	コロナ禍で親になる
伊藤	将人	国が「成功」と評価する地方自治体の移住政策をめぐる論理と規範
伊藤	雅之	コロナ禍における（陰謀論的）スピリチュアリティの展開
伊藤	慈晃	オンライン空間が若者の心霊観に与える影響
稲葉	渉太	専門用語としての「自己責任」概念は、どのように用いられていたのか。
稲永	祐介	離村と習俗の軟化
猪股	祐介	満洲移民の記憶化をめぐる諸問題
岩井	紀子	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2022 (4)
岩田	考	「友だちバブル」の崩壊
岩本	健良	性別情報の意義と性別欄削除をめぐる動向
打越	文弥	難関大学に出願する女性が少ないのはなぜか (1)
浦野	慶子	米国におけるメンタルヘルス及び薬物乱用領域を専門とするソーシャルワーカーと薬物乱用、行動障がい及びメンタルヘルス領域を専門とするカウンセラーの実質賃金推移の比較分析
栄沢	直子	軍用地の存在と地域社会 (2)
海老田	大五朗	科学技術研究所における発達障害者のワークプレイスデザイン
大木	香菜江	福祉レジームと家族
大島	岳	親密性からの／への疎外
大野	光明	在沖繩米軍兵士によるベトナム反戦運動
大畑	裕嗣	「ソビエト型社会の批判理論」の再文脈化
大尾	侑子	「有害図書類」か、思い出のなかの「ビニ本」か？
大森	駿之介	いかにして性的マイノリティを「地域社会の一員」として主張できるのか
大森	優美	和平プロセスの社会学に向けて
大矢根	淳	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2022(3)
大山	治彦	スウェーデンにおける性教育の発展とRFSUの役割
岡尾	将秀	スリランカ系上座仏教寺院における日本人の場所形成
小川	晃生	E・トッドの「人類学的基底」概念の修正に関する一考察
小田	和正	幸福度指標と日本の地方自治体
落合	仁司	アート、外密性、社会
表	弘一郎	戦後のアドルノと「社会学のアクチュアリティ」

姓	名	題目 (Main Title)
恩田	守雄	南洋群島の金融互助
KE	YEJIA	ベトナム・ヌン族女性移民の生存戦略に対する国家の影響
歸山	垂紀	Withコロナ時代の日米価値観調査の分析(2)
笠原	良太	高度成長期における産業衰退と若年労働力の移出
風間	孝	大学教員の性的指向・性自認(SOGI)についての知識と態度に関する全国調査報告(2)
榎田	美雄	アレクサ搭載のEcho Showを用いた遠隔コミュニケーション実験
粕谷	圭佑	オンライン子育て支援の相互作用(3)
片桐	勇人	過疎化する都市近郊農村における地域差の分析
片瀬	一男	三大都市圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究(5)
加藤	倫子	刑務所の「中」で、「外」の生活を語る
加藤	丈太郎	コロナ禍が技能実習制度に及ぼした影響
金光	淳	流動形態の前衛芸術家のスモールワールド
釜野	さおり	大学教員の性的指向・性自認(SOGI)についての知識と態度に関する全国調査報告(1)
神山	英紀	“結婚しない”と“未婚化する”をつなぐ論理
河村	裕樹	精神科における症例検討会のワークの研究
河村	賢	初期テロリズム研究におけるCold War Rationalityの問題
神林	博史	新型コロナウイルス流行後のオンラインパネル調査データの分析(1)
北垣	徹	フステル・ド・クーランジュからデュルケームへ
木下	博之	美の作用
金	成垣	社会的企業政策の日韓比較
金	希相	後発的移民受け入れ国における移民の住宅消費パターン
金	政芸	「JGSSデータダウンロードシステム(JGSSDDS)」と「JGSSオンライン分析アプリケーション」の開発
木村	雅史	スティグマの可視性概念の検討
木村	裕貴	妻の就業が離婚に及ぼす影響とその時代変化
桐谷	詩絵音	都市コモンズ研究における課題の整理
久保田	裕之	性愛なき結婚からみる恋愛・親なり・社会的承認
倉石	一郎	〈社会問題の教育化〉のアナロジーとしての脱魔術化
蔵本	紗知	プライバシー侵害の視点から捉える監視資本主義
栗栖	瑞季	現代のスピリチュアリティは資本主義にいかに関わるか
栗原	真史	コロナ禍のイベント「自粛」は変わったのか
栗原	美紀	ヨガの指導における言語的実践の役割
毛塚	和宏	分極化なき類似
元治	恵子	海外で働く日本人女性の就業状況
小林	大祐	個別面接調査における調査員の観察可能な属性が回答に与える影響
小林	盾	子どもの貧困とウェルビーイング
小林	和夫	南方薬用植物をめぐる軍官産学の連携
コン	アラン	階層的地位・階層帰属意識・階層移動が政治意識に与える影響
近藤	凜太郎	国際開発・人道支援組織が生産する「第三世界」のジェンダー表象
佐伯	厘咲	難関大学に出願する女性が少ないのはなぜか(2)：親の質的な教育期待
酒井	泰斗	なぜ〈人間〉は産業社会学の問題になるのか③
榊原	賢二郎	障害者の自己記述と当事者研究
坂本	唯	なぜ原発避難者は経験を伝え続けるのか
崎濱	佳代	ホスト社会沖縄と日系人
櫻田	和也	釜ヶ崎史料アーカイブ
佐々木	尚之	COVID-19に関する意識と行動の変化
佐藤	裕	問いの社会学
佐藤	香	三大都市圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究(4)
佐藤	佑紀	湯浴と副詞化する自己
佐藤	祐菜	「ハーフ」の文化社会学に向けて
里村	和歌子	軍事性暴力をめぐるポジションについての状況分析
佐野	俊幸	サロガシーで用いられた近代家族のメタファーの論証戦略

姓	名	題目 (Main Title)
佐野	和子	21世紀の職業変動とライフチャンス
篠原	清夫	マンガからみる養護教諭へのまなざし
清水	拓	1990年代の日本石炭産業における現場職制と労働者の関係について
庄司	貴俊	原発被災地で漁業を継続できる理由
ジョハンナ	ズルエタ	加齢女性移民とソーシャルウェルビーイング
白井	千晶	知的障害のある人の支援付き一人暮らしに関する支援者・家族の認識とニーズ
白鳥	義彦	19世紀フランスにおける社会主義と社会学
白波瀬	佐和子	包摂からみる信頼に関する検討：世代・ジェンダー間格差に着目して
申	在烈	日本におけるギグワーカーの組織化
菅森	朝子	がんの非経験者ががんの活動に関わる動機
杉野	勇	Withコロナ時代の日米価値観調査の分析(3)
杉本	久未子	軍用地の存在と地域社会 (5)
杉山	怜美	新型コロナ禍の長期化に伴う対面・オンラインでの同人誌即売会の参加者実践の変容
鈴木	健一郎	非正規雇用から正規雇用への移動における階層間不平等
鈴木	赳生	Convivial space as a decolonial tool
関	嘉寛	災害復興における情動と公共性
瀬戸	健太郎	職業内タスクと技術水準
園田	薫	日本における企業と組織の社会学再考
戴	雨濛	日本のアイドルファン文化の中国における現地化の研究
高岡	聖奈	1960年代における社会運動とサブカルチャーの接近
高艸	賢	価値関係とレリヴァンス
高橋	涼子	ケアの脱家族化は可能か？
多喜	弘文	日本における短期高等教育学歴と労働市場
瀧川	裕貴	文化資本の社会関係資本の転換メカニズムに関する架空SNS実験
武田	里子	「日本人／外国人」の二分法と在外邦人の国籍問題
武田	尚子	近代名古屋における土地区画整理事業と商工業地域の形成
武田	俊輔	1960・70年代日本における「ふるさと」表象とその構築プロセス
駄田井	久	ベトナムにおける食品加工企業の原材料調達現状と課題
田中	重好	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2022 (5)
田中	祐児	オンラインサーベイ実験を用いた貧困観の検討
谷本	奈穂	美容をめぐるコミュニケーション
田野	大輔	ナチズム下の社会学
田村	雅夫	軍用地の存在と地域社会 (3)
樽本	英樹	過激主義の社会的再考
丹上	麻里江	ゲノム医療と社会
塚田	穂高	「神真都Q」運動の宗教社会的考察
辻	竜平	政権担当者の感染症対策への評価が衆議院選挙の投票行動に与えた効果
辻	泉	スマホは社会関係資本たりうるか
辻	大介	デジタルデバイド問題再訪
辻井	敦大	伴侶動物に対する墓地の成立とその増加
都島	梨紗	協力雇用主の就労支援実践における境界
津田	壮章	自衛隊発行文書からみる社会への視線
土取	俊輝	過疎村落における空き家のモラルについての一考察
角田	燎	団体を通じた自衛隊と旧軍の連続性
鶴巻	泉水	宗教的人種化とナショナルな文脈：2000年代以降のフランスにおけるムスリム差別研究と論争をめぐって
寺島	拓幸	消費生活のデジタル化とモノに対する態度
戸井田	晴美	ケアのアンビバレンス
湯	婉秋	市場経済期における中国高学歴女性のキャリア意識
董	鎧源	中国のアニメ情報雑誌が果たした役割
堂本	直貴	公園候補地を寄付するとはいかなる行為か
時安	邦治	B. S. ターナーにおけるヴァルネラビリティと人権

姓	名	題目 (Main Title)
徳安	慧一	難関大学に出願する女性が少ないのはなぜか (3) : 公立別学進学校におけるジェンダートラック
轟	亮	Withコロナ時代の日米価値観調査の分析(1)
土橋	臣吾	高頻度化するモバイル系ネット利用
中川	雄大	「帝都復興」における「復旧」と「復興」の論理
中澤	渉	専門教育は労働市場で有利に働くのか
中澤	高師	神恵内村と高レベル放射性廃棄物処分場
中田	明子	介護保険制度下でケアにおける情緒的な絆にはどのように対処されているか
永田	夏来	オンライン子育て支援の相互作用 (1) オンライン子育て支援における「わが子の報告」
中原	慧	移民的背景のある子どもの学力に関する分析
中溝	一仁	「ハレ指向」と生活満足度, 幸福度との関連について
中村	真由美	シングルマザーの睡眠と健康
難波	孝志	軍用地の存在と地域社会 (1)
西城戸	誠	福島県外避難者支援のローカルガバナンスの現状と課題
西山	哲郎	スポーツでの体罰指導を支える「感情の共同体」
新田	真悟	年齢による職域分離
日戸	浩之	高齢者のウェルビーイングと「終活」をめぐる調査研究
丹辺	宣彦	三大都市圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究 (6)
魯	ゼウォン	過疎地域における「朝鮮通信使」の展開と地域社会の受け入れ
野坂	真	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2022 (1)
野邊	政雄	過疎農村に住む高齢女性が取り結ぶ友人関係の重要性の増大
野村	恭代	都市部におけるつながりと生活課題の実態
萩原	久美子	保育の市場化過程における労働組合活動の諸問題
朴	慧原	政策からみた「圧縮された近代」における「家族主義」
橋本	健二	三大都市圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究 (1)
長谷川	愛	タイ北部チェンマイのストリートユースから見える日常と非日常
畑山	要介	エンカル消費に対する脱成長意識の影響
羽瀨	一代	マッチングアプリ利用と若者の出会い
濱	貴子	奥むめおの婦人運動における社会的ネットワーク形成
原	俊彦	人口減少対策におけるパラダイム転換の提案
樋口	あゆみ	組織論としてのシステム論
樋口	直人	移民とナショナリズムをめぐる日本的構図
平井	太郎	社会学・者にとってのアクションリサーチ
平原	幸輝	三大都市圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究 (2)
傅	昱	コロナ禍における中国「社区居民委員会」の二重属性とその変容
福井	康貴	社会起業家の社会関係資本と経営理念の検討
福岡	千珠	北アイルランドにおける中絶をめぐる言説の再構築
福島	由依	難関大学に出願する女性が少ないのはなぜか (4)
藤井	史朗	廣松渉氏の認識論の批判的再検討
藤岡	伸明	浜松市の外国人材支援制度の現状と課題
藤田	哲司	特権性の否定—Wikipedia社会の自由と秩序について
藤谷	忠昭	軍用地の存在と地域社会(6)
藤原	翔	何を測る対象とし, 推定するか
藤本	一男	幾何学的データ解析 (GDA) の中で多重対応分析 (MCA) と分散分析 (ANOVA) の連携を見る
古橋	綾	韓国において性売買を語ること
干川	剛史	東日本大震災被災地 (南三陸町・気仙沼市) における復興に向けて
HOMMERICH	Carola	新型コロナウィルス流行後のオンラインパネル調査データの分析 (2)
堀内	進之介	民主政におけるAIの決定理由と人間の受容理由
ボンサビタックサント	ピヤ	アジアのテレビ広告におけるジェンダー役割
本田	由紀	人文社会科学系大学教育の分野別習得度が卒業後の仕事に及ぼす影響
前田	一步	「国鉄女子労働者調査」(1952)の復元二次分析
前田	益尚	がんの告知から入院、手術、社会復帰のプロセスにおいて、ひとかどのQOLを維持するための超病倫理学序説

姓	名	題目 (Main Title)
前山	総一郎	米国における「ワークフォース・ローカルガバナンス」のパラダイムシフト的形成とアプローチ
牧野	芳子	軍用地の存在と地域社会 (4)
増井	恵理子	高校生への価値志向が性別専攻分離に与える影響の地域差に関する分析
増田	拓弥	新幹線はいかなるものとして語られてきたか
眞住	優助	日本で就職する外国人留学生の増加要因の考察
俣野	美咲	世代間支援が若年期のライフイベント経験に及ぼす影響
松川	尚子	成人子と親の居住実態からみる世代間関係
松繁	卓哉	対人支援における熟議アプローチの実践
松田	美佐	インフラ化したスマホ
松田	ヒロ子	米軍基地から自衛隊駐屯地へ
松谷	実のり	起業とエスニックコミュニティ
松永	伸太郎	労働をめぐる時間的秩序をいかにして記述するか
松元	圭	双極性障害患者と縁者が経験する困難についての一考察
真鍋	一史	Schwartzの価値観理論のその後の展開の方向
圓田	浩二	援助交際からパパ活へ
MICHALOVA	ZUZANA	タトゥー制作過程における間身体性と社会関係
水川	喜文	障害者と／が、共に働くワークプレイスのエスノメソドロジー
水原	俊博	ICT化／デジタル化する消費と主観的幸福感
三隅	一人	災害と地域社会フリーライダー
南川	文里	アメリカ合衆国における生得的市民権と市民の境界
宮下	さおり	中小商工業者の組織化とその特徴
宮地	俊介	なぜ〈人間〉は産業社会学の問題になるのか②
宮前	健太郎	伝染病と解釈様式
宮本	真也	情動と理由のアリーナとしての公共圏
三輪	哲	日本の若年層の結婚と交際における階層結合の近年の趨勢
麥倉	哲	戦時下の渡嘉敷村における日本兵の死
麦山	亮太	コロナ禍前後におけるテレワーク利用機会の所得階層間格差の拡大とその要因
村澤	真保呂	主観性と自然環境のあいだ
村瀬	洋一	日本の新型コロナ禍における社会意識と行動に関する社会調査
室井	研二	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2022 (2)
百瀬	由璃絵	病める日本の社会的排除メカニズム
森	泰規	音楽コンテストの研究
森	直人	「貧困化の過程」の語り方・描き方
森山	洸	反貧困運動における戦術革新のプロセス
柳下	実	時間におけるジェンダー不平等の捉え方についての理論的検討
矢崎	慶太郎	美的関心におけるコスモポリタニズム
安田	雪	構造的空隙理論の最先端における論点整理及び新概念の導入
矢吹	康夫	外見で差別しているのは誰か
山内	智瑛	COVID-19「自粛」によるナイトライフ利用者の再編
山岸	諒己	子どもの身体への言及の仕方
山口	敬大	「探偵小説」専門誌の研究
山口	賢一	Social Capital and Self-efficacy of Nursing Students
山口	博史	スロヴァキア系とハンガリー系の民族間結婚がもたらすもの
大和	礼子	父との同居と母との同居—日本と台湾における規定要因の比較—
山野上	麻衣	不利のなかで育つ子ども・若者支援における支援者の形成／変容
山本	努	準社会は不完全な社会なのか？
山本	耕平	パーソナルデータ利用の正統性と説明可能性への期待
結城	翼	福祉制度のシスジェンダリズムを問う
湯川	やよい	女性非触法ペドファイルの語り
弓山	達也	いのちの教育はなぜ後退したか
吉田	崇	適正所得認知からみたジェンダー所得格差の正当化

姓	名	題目 (Main Title)
吉村	治正	インターネット利用の不安感と社会調査への回答
吉村	真衣	伝統的生業の観光化を通じた漁場利用の再編
劉	思良	既婚者の仕事満足度の規定要因
LIU	YINGHAO	Simulation of rebellion acts under censorship
若狭	優	オンライン子育て支援の相互作用 (2)
渡壁	晃	戦争死者慰霊における「先輩-後輩」関係
左	雯敏	Study on Agricultural Volunteer Program in Japan